

性の多様性に関する知識及び態度を形成するための 学習指導過程の開発

教育実践高度化専攻 児童生徒発達支援コース 養護教育実践系

杉浦 沙樹

性の多様性に関わる段階的な学習の第一歩として、知識習得と態度の形成を目指した学習指導過程を開発することを目的とする。

2023年10月に愛知県A市立S中学校に在籍する1年生156人を対象に、性の多様性に関する正しい知識を習得し、態度を形成するための検証授業を実施した。授業は介入群3クラス、統制群3クラスを設定し、すべての群に対して介入前後で評価を行った。

知識的側面と態度的側面ともに有意に上昇した。授業の感想では、新たな『ジェンダー観』の構築や『社会的認知』の再考の記述がみられた。しかし、態度的側面を質問項目ごとに見てみると、「多様性理解」「同性愛受容感」の効果が小さかった。

具体性を高めた知識伝達と当事者の登場を取り入れた授業を実践することで、正しい知識の習得とある程度の態度形成がなされたと言える。しかし、一部の態度の上昇率が低かった点が見出され、今後さらなる教育実践と学習指導過程やカリキュラムを検討していく必要が示唆された。